

# 「中国残留日本人孤児」の歴史を語り継ぐために

主催：神戸市（委託団体）中国「残留日本人孤児」を支援する兵庫の会

2024年度中国残留邦人への理解を深める集い

# 中国残留婦人三世

## として生きる

入場無料・予約不要

今回は中国残留婦人三世の方をお招きして、中国残留婦人である祖母について、三世としてどのように生きてこられたか、その思いをお話しいただきます。



中村慶子さん



山崎哲さん



浅野慎一  
(当会世話人代表)



チンイさん  
(二胡奏者)

2024年11月23日13:00開演  
神戸市立東灘区文化センターうはらホール

### プログラム

『中国残留婦人三世として生きる』

- ・中村慶子さん、山崎哲さんによるお話し
- ・鼎談

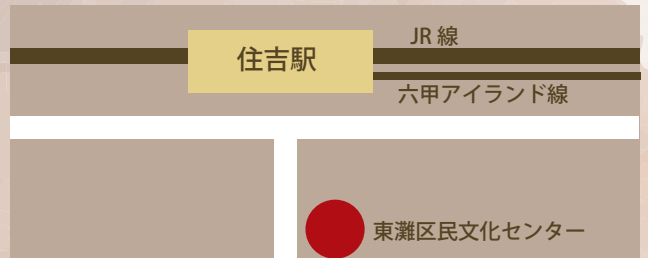
中村慶子さん × 山崎哲さん × 浅野慎一 (当会世話人代表)

### アトラクション

- ・二胡奏者チンイさんによる二胡ミニコンサート

【お願い】

- ・天候等の状況により中止する場合、断りなく内容を変更する場合がありますのでご了承ください



【会場アクセス】(国道2号線北沿い)

JR神戸線・六甲ライナー：「住吉駅」下車南側へ徒歩約2分(改札口から連絡通路あり)

市バス33・35・37・38・39系統、阪神バス：「住吉駅前」東灘区民文化センターには駐車場はございません。

【お問い合わせ先】

中国「残留日本人孤児」を支援する兵庫の会  
〒658-0003

神戸市東灘区本山北町3丁目4-9 甲南ビル 201号

☎090-8539-7021 (水野)



### 中村慶子さん(中国名 劉芳 - リュウファン)

1972年、中国遼寧省(りょうねいしょう)生まれ。祖母が中国残留婦人。1985年9月に来日。明石の小学校5年生に編入。小中学校では、言葉が通じず、通訳等のサポートが全くなかったため、学校に居場所がなく、不安で孤独な日々を過ごす。劣等感に押しつぶされながらの高校受験。兵庫県立明石南高校へ進学する。親友や理解ある恩師との出会いで、卒業式の日自分のルーツをクラス全員にカミングアウトする。信州大学人文学部へ入学。卒業後、京都府宇治市の公立中学校の「日本語教室」で講師として約10年間、同じ中国にルーツを持つ生徒たちを教える為に教壇に立つ。その後、中国大連に約2年間帰国し、再び明石へ。教員採用試験に挑戦し、教師になる夢を叶える。現在は兵庫県立の特別支援学校の教員として勤務。中国人の夫と高校に通う二人の娘と暮らしている。自分自身のことを書いた記録「私の半世紀～二つの国に生きて～」が第48回部落解放文学賞を受賞した。



### 山崎哲さん

1985年東京都生まれの中国残留婦人三世。一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程在籍。これまで、主に中国残留孤児・婦人の三世・四世に話を伺って研究を行っている。「中国残留邦人等の体験と労苦を伝える『戦後世代の語り部』(厚生労働省事業)の一人としても活動している。NHK ETV 特集「わたしは誰 我是誰～中国残留邦人3世の問いかけ」(2018年9月放送)に出演。論文に「見えにくいマイノリティ」の移動をめぐる内的世界を照らすー中国帰国者三・四世のライフヒストリーを手がかりにー『異文化間教育』(59)など。



### 浅野慎一(当会代表世話人)

神戸市出身、1956年生まれ。  
摂南大学現代社会学部学部長・特任教授。神戸大学名誉教授。  
中国「残留日本人孤児」を支援する兵庫の会・世話人代表。  
主な著書として『中国残留日本人孤児の研究』御茶の水書房、『異国の父母：中国残留孤児を育てた養父母の群像』岩波書店など。  
HP：「尊厳ある和解を求めて」<http://dignity-reconciliation.jp/>



### チンイさん(アトラクション・二胡演奏)

JCM 民族楽団副団長 二胡奏者  
中国浙江省に生まれ。13歳より、叔父に二胡を習い始める。湖州少年楽団に入団し、演奏活動に取り組む。2003年9月湖州師範大学音楽学院演技専攻に入学。張飛龍教授に師事し、本格的な音楽教育と二胡演奏訓練を受けた。在学中、中央テレビ「心連心」芸術団に2回ほど参加し、中国各地で演奏してきた。2006年、浙江省青少年民族楽器コンクール3位受賞。また、地元の大きなイベント「湖筆節」をはじめ、音楽イベントに多数出演し、高い評価を受けている。2008年9月に来日、様々な演奏活動を行い、日本の新聞やテレビにも取り上げられ、日中の文化交流に貢献している。2014年大阪府立大学大学院を修了。2020年にアジア国際音楽コンクールで最優秀指導者を受賞。堺東と高槻で二胡教室を主宰。